広報 向日町

発行所
向日町役場
京都府乙訓郡向日町
大字向日小字南山3
電話京都(92)3111～5
編集・向日町役場総務課

新年度予算2億9千万円

住みよい町づくり
第二小学校の建設はじめる

町の三十九年度予算は、二億九千二百万円（一般会計一億七千四百万円、特別会計一億一千八百万円）と、三月定例町議会で決まった。伸びゆく町を反映して、前年度当初予算にくらべると五千六百万円の増で、住みよい町づくりを積極的に推し進める。

向日町は、京阪神のベッドタウンとして、年々急激な発展をつづけ、人口は昨年中に千七百人も増え、現在一万七千人が生活している。このような人口の急増、町の発展にともなって、都市計画、保育所の開設、学校建設、上水道拡張など、住みよい町づくりが強力に推進される。

第二向陽小学校の建設は、用地の買収を完了し、いよいよ三ケ年計画で鉄筋校舎の建設にかかる。

新年度予算は、このような伸びゆく町を反映して、総額二億九千二百万円で、前年度当初予算より五千六百万円の増加です。

一般会計のうち、都市計画や学校建設などに用いられる事業費は、五千四百万円で予算の三十一%をしめている。重点施策は次のとおり。

【教育対策】発展する町として、近い将来の児童急増を見通して、三十六年よりの計画してきた第二小学校の建設用地六千坪を、これから開発される町の北部（物集女小字南条）で買収を完了した。校舎建設は、三ケ年計画で鉄筋二階建て校舎や体育館を総工費八千九百五十万円で完成さす。新年度は二千七百万円で鉄筋二階建て八教室（三百十五坪）を建てる。また、就学を促進するため、恵まれない児童に教科書、学用品の給与、給食費を補助する。他に例をみない修学旅行や遠足の全額補助は例年どおり行なわれる。このほか、プールの運営、町民体育大会などの保健体育振興に九十六万円、組合立乙訓中学校の負担金六百六十万円を計上した。

【環境衛生対策】結核、小児マヒなど、伝染病予防に重点を置く。住宅の増加により、ごみの量が大幅にふえたので、オート三輪車と作業員四人をふやして、ごみ処理に万全を期す。

都市下水路を改修
順調に進む水道拡張

【土木事業】道路整備に七百三十二万円を計上し、町道（上植野）の拡幅と道路舗装など道路改良にあてる。また都市計画事業は、都市下水路整備に四百七十六万円をつぎこみ、石田川の第三期改修をすすめる。街路灯は二十五ケ所の新設を予定している。

【消防対策】機動力を一応整備されたので、これからは火利用に重点を置き、貯水そうを百万円で二ケ所に新設する。

【住民福祉対策】四月から乳幼児を収容する町立保育所や児童福祉に五百七十九万円を計上。老人福祉では敬老会、老人クラブの助成や健康診断などを五十四万円で行なう。このほか遺族会と社会福祉協議会、身体障害者協会などの補助は例年どおり。

【事務改善】事務のスピード化や窓口の一本化など事務改善の本町に適した方法を数年前から研究をはじめ、各地の先進地を視察したり、研究会などに参加して、種々検討していたが、いよいよ具体化する。まず第一段階として、台帳類を集中管理するため、ビジブルマスター（記録カード保管庫）を六十三万円で購入し、カードの作成にかかる。このカードには、一世帯ごとがまとめられ、住民票、印鑑票、配給、国民年金などが一目でわかるシステムです。カードの作成が完了したならば、窓口を一つにして、現在の各課の窓口めぐりを解消する。完全実施は二、三年先になる見込み。

【上水道対策】水道拡張四ケ年計画の後半にはいり、浄水場新設も大部分ができ、新年度は四千八百六十二万円で深井戸掘鑿、配水池新設と用地買収、給配水幹線の整備などを行なう。ことしから夏期の水不足の心配はなくなる。

一般会計予算の歳出を性質別に分類すると、次のようになる。

	千円
人件費	60,136
事業費	54,285
物件費	27,153
補助費	19,499
公債費	8,773
繰出金	1,500
積立金	1,206
扶助費	663
その他	821

大幅に伸びる町税
予算の七十五%をしめる

予算規模が大幅にふくれたのは、町税増収分を前年度当初予算より三千九百万円多い一億三千万円と見込んだことと第二小学校の校舎に充当する町債（借入金）一千三百三十万円を計上したことなどがあげられる。

歳入の七十五%をしめる町税の住民負担額は、町民税（個人分）一人当たり三千円、固定資産税（同）一世帯当たり五千六百円と前年度と大差がない。

このほか、国・府支出金一千七百万円、寄付金（競輪場関係、長岡町委託児童、第二小学校建設）五百八十万円などの特定財源で歳出額をまかなう。

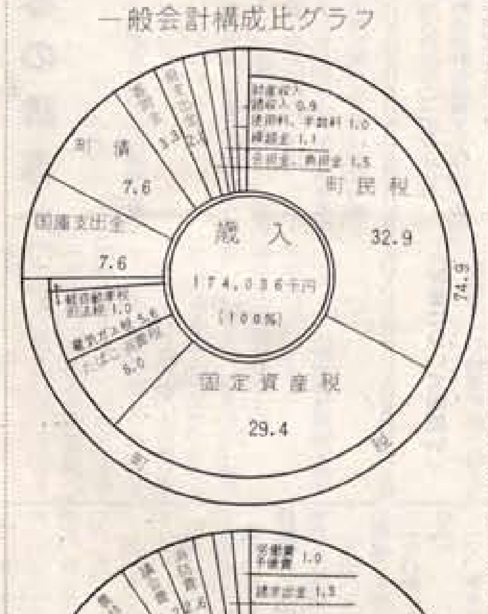
× × ×

※参考※ 地方自治法の一部改正に伴い、新年度で款から歳入、歳出予算の組み方を、歳入は性質別に、歳出は目的別に区分するなどの様式変更などが行なわれた。

昭和39年度一般会計予算

科目	予算額（千円）
＜歳入＞	
町税	130,275
（町民税	57,272）
（固定資産税	51,168）
（軽自動車税	1,581）
（たばこ消費税	10,500）
（電気ガス税	9,750）
（旧法による税	4）
分担金および負担金	2,544
使用料および手数料	1,676
国庫支出金	13,315
府支出金	3,655
財産収入	1,011
寄付金	5,782
繰越金	2,000
諸収入	478
町債	13,300
歳入合計	174,036
＜歳出＞	
議会費	5,646
総務費	38,992
民生費	11,983
衛生費	12,814
労働費	1,268
農林水産業費	8,191
商工費	2,433
土木費	20,585
消防費	4,510
教育費	49,692
公債費	15,099
諸支出金	2,323
予備費	500
歳出合計	174,036

一般会計構成比グラフ



昭和39年度特別会計予算

上水道事業

科目	予算額（千円）	構成比（%）
＜歳入＞		
使用料および手数料	27,964	73.4
財産収入	54	0.2
繰越金	5,250	13.7
分担金および負担金	80	0.4
諸収入	4,700	12.3
歳入合計	38,048	100.0
＜歳出＞		
上水道管理費	24,953	65.6
財産費	52	0.2
公債費	7,843	20.6
諸支出金	4,000	10.5
上水道布設費	1,000	2.6
予備費	200	0.5
歳出合計	38,048	100.0

上水道建設事業

科目	予算額（千円）	構成比（%）
＜歳入＞		
繰入金	4,000	7.7
町債	48,000	92.3
歳入合計	52,000	100.0
＜歳出＞		
上水道布設費	51,400	98.8
（事務費）	(2,793)	(5.4)
（工事費）	(48,607)	(93.4)
予備費	600	1.2
歳出合計	52,000	100.0

国民健康保険事業

科目	予算額（千円）	構成比（%）
＜歳入＞		
国民健康保険税	12,714	45.2
使用料および手数料	1	—
国庫支出金	12,446	44.2
府支出金	1	—
財産収入	4	—
繰入金	1,500	5.3
繰越金	1,500	5.3
諸収入	4	—
歳入合計	28,170	100.0
＜歳出＞		
総務費	2,685	9.5
保険給付費	23,713	84.2
保健施設費	612	2.2
諸支出金	5	—
予備費	1,155	4.1
歳出合計	28,170	100.0

町の人口

39年3月1日現在

男	8,490人
女	8,532人
計	17,022人
世帯数	4,255
物集女	1,242人
寺戸	8,004人
森本	1,767人
鶏冠井	1,866人
西向日	1,099人
上植野	1,741人
向日	1,303人

＜新浄水場建設＞ 物集女（車塚北側）で建設中の新浄水場の工事は、順調に進行している。

＜町立保育所＞ 四月から開所され、郡内ではじめての乳児室も併設される。（向陽小学校南側）